

全国スポーツ流鏑馬第10回八戸大会 御礼

令和7年8月11日（月・祝）に開催されました標記大会にて、本学院のブースを出展し、生徒とともに活動をすることができました。また、昨年より引き続き立射演武の成果披露もさせていただきました。今年は各学年3名ずつ、合計3回も実施させていただき、記念となりました。

本学院は、平成25年に星槎国際高等学校と提携し設立した「青森県教育委員会指定技能教育施設」です。通信制高校の機能的な部分と、毎日通える環境を備え、「人を認める」「人を排除しない」「仲間を作る」の3つを約束事とし、現在32名が在籍しております。

さまざまな原因で不登校を経験したり、既存の学校になじめなかったり、いまの環境を変えたい（通っている高校を転校したい）生徒などを主な対象としております。

ゆるやかな学習カリキュラムの中で、さまざまな体験活動を通して自己効力感や成功体験の積み重ねを重視しております。特に、昨年度より「八戸弓馬会あおば道場」を開設し全国初となる「スポーツ流鏑馬コース」を設け、常日頃、弓に触れることができる環境になっております。

～普段の活動風景～



大会当日のあおば学院ブースでは、飲料や手作りレジン作品などの販売を行いました。学院で勉強する「商業科目」との関連も見い出し、生徒にとって有意義な体験をすることができました。あわせて、チャレンジマッチにも1名参加をさせていただき、2年連続目標を達成することができました。

今後とも本活動の継続および学院生徒たちの経験値や自己効力感向上のため、ご支援ご協力賜りますよう、何卒よろしくお願い申しあげます。

<生徒感想（一部）>

盛岡藩南部家第46代当主 南部利文様をお迎えしての大会参加にあたって、筆で横断幕を作成するなど、準備段階から力を入れて取り組みました。当日は、流鏑馬の馬と射手のコンビネーションと、その美しさに感動しました。また、私は立射演武には出ませんでしたが、補助をするなど、貴重な体験をすることができました。これも運営の方々や支援をいただき、大会が実施されたからこそです。高校生活の最後に良い機会をいただくことができ、嬉しく思います。ありがとうございました。
3年 Y. F

私は立射演武の射手としても出演しました。昨年も立射演武に挑戦しましたが、あいにくの悪天候で今年も予報では雨かと思いましたが、最後にいい思い出を作ることができました。流鏑馬大会に参加するにあたり、たくさんのいい思い出を作ることができました。これは、実際に体験したからこそ得られるものだと思います。支援いただき、本当にありがとうございました。
3年 A. R

飲食物などを販売するブースを担当しました。早朝からたくさんのボランティアの方々が集まって準備や営業をしているのを見て、協力して1つのイベントを成功させようという意気込みを感じました。そのような中で、開会式やブースだけではなく、実際の競技も見ることができ、とても充実した1日となりました。実際に選手として出場した仲間や、立射演武を披露した仲間もいます。それぞれの得意を活かした場面や、自分もブースで販売などをして、3年間で一番思い出に残る大会となりました。ありがとうございました。
3年 T. D



選手として出場



開会式 欽迎の様子



ブースの様子

<本件担当> 八戸あおば高等学院
事務局長 白山拓弥
TEL 0178-22-3470
FAX 0178-22-3475
Mail info@hachinohe-aoba.com